

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和6年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2024-4	制振ダンパーを有する橋梁における三次元ダンパー部材抵抗と橋全体系応答性状の把握	京都大学 教授 高橋 良和	A
<p><研究の概要></p> <p>実大・実速度による制振ダンパーの一方向・三方向加力実験と、制振ダンパーを有する上部構造モデルの振動実験を実施して、質の高い抵抗・応答データを取得し、橋全体系の耐震設計法の高度化に直接資することができる抵抗・応答評価法を開発する。</p> <p><中間評価結果></p> <p>当初の計画内容に加えて2年目に想定していたデータの取得が前倒しできるなど、順調に進捗していることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ダンパーの性能を十分に発揮させるため、ブラケット取付部の挙動、要求性能や構造改良などについて検討いただきたい。 3年目に実施予定の制振ダンパーを有する橋全体系の動的解析の検証と妥当性確認については、妥当性確認の前のモデル構築や数値解析の検証に時間がかかると思われるため、研究計画を1年前倒して次年度から始めることが望ましい。 実験、シミュレーションでの再現をするだけでなく、道路橋の設計基準への取り込み方の検討、そのための実験結果の整理方法についても検討していただきたい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第53回新道路技術会議において審議したものである。